

(様式6)

公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(平成28年 8月 4日)

事業コード	H28-建-新-05			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	通常砂防事業			部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防堰堤工			班 名	砂防・防災班 (tel)018-860-2518
路線名等	ビッキ沢			担当課長名	河川砂防課長 小野 久喜
箇所名	横手市安田			担当者名	主幹(兼)班長 阿部 透
プランとの 関連	政策コード	01	政 策 名	県土の保全と防災力強化	
	施策コード	01	施 策 名	健全な県土保全の推進	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づくり	

1. 事業の概要

事業期間	H29~H32(4年)	総事業費	1.5 億円	国庫補助率	1/2																																																																														
事業規模	○ 砂防堰堤1基(H=7.5m L=64m) ○ 溪流保全工(L=67.0m)																																																																																		
事業の立案に至る背景	○ 当溪流は横手市安田に位置し、保全対象として人家20戸、一般病院、事務所・店舗、国道等を抱える土石流危険溪流である。当流域内では溪岸侵食が進行し、溪床には多くの不安定土砂が堆積している。豪雨出水時には雨水とともに流出し、保全対象に甚大な被害をもたらす恐れが高い。不安定土砂の流出防止を図るため、砂防施設(砂防堰堤工1基)、溪流保全工を整備し、土砂災害から人命・財産を守るために新規事業箇所として要望するものである。																																																																																		
事業目的	【主たる目的】 ○ 砂防施設の整備により、下流にある人家や国道等を保全し、安全・安心な地域の創出を図る。 【保全対象】 ○ 人家20戸 ○ 国道13号 L=73m ○ 市道 L=248m ○ 一般病院1戸 ○ 畑 A=0.9ha																																																																																		
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全 体</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>H32年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>150,000</td> <td>15,000</td> <td>25,000</td> <td>50,000</td> <td>60,000</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>105,000</td> <td></td> <td></td> <td>50,000</td> <td>55,000</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>10,000</td> <td></td> <td>10,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内訳その他</td> <td>35,000</td> <td>15,000</td> <td>15,000</td> <td></td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国庫補助</td> <td>75,000</td> <td>7,500</td> <td>12,500</td> <td>25,000</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>67,500</td> <td>6,700</td> <td>11,200</td> <td>22,500</td> <td>27,100</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>7,500</td> <td>800</td> <td>1,300</td> <td>2,500</td> <td>2,900</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td></td> <td>詳細設計</td> <td>用地測量 用地補償</td> <td>砂防堰堤工</td> <td>砂防堰堤工 溪流保全工</td> </tr> </tbody> </table>						全 体	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度以降	事業費	150,000	15,000	25,000	50,000	60,000	経費						工事費	105,000			50,000	55,000	用補費	10,000		10,000			内訳その他	35,000	15,000	15,000		5,000	財源						国庫補助	75,000	7,500	12,500	25,000	30,000	内訳						県債	67,500	6,700	11,200	22,500	27,100	その他						一般財源	7,500	800	1,300	2,500	2,900	事業内容		詳細設計	用地測量 用地補償	砂防堰堤工	砂防堰堤工 溪流保全工
	全 体	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度以降																																																																														
事業費	150,000	15,000	25,000	50,000	60,000																																																																														
経費																																																																																			
工事費	105,000			50,000	55,000																																																																														
用補費	10,000		10,000																																																																																
内訳その他	35,000	15,000	15,000		5,000																																																																														
財源																																																																																			
国庫補助	75,000	7,500	12,500	25,000	30,000																																																																														
内訳																																																																																			
県債	67,500	6,700	11,200	22,500	27,100																																																																														
その他																																																																																			
一般財源	7,500	800	1,300	2,500	2,900																																																																														
事業内容		詳細設計	用地測量 用地補償	砂防堰堤工	砂防堰堤工 溪流保全工																																																																														
調査経緯	平成22年度 砂防流域調査業務 平成23年度 測量業務 平成24年度 予備設計・地質調査業務																																																																																		
上位計画での位置付け	○ 第2期ふるさと秋田元気創造プランにおける基本政策「県土の保全と防災力強化」を推進																																																																																		
関連プロジェクト等	○ 特になし																																																																																		
事業を取り巻く情勢の変化	○ 平成25年8月7日に仙北市供養佛地区で大規模な土石流災害(死者6名)が発生しているほか、平成26年8月に広島県で発生した土石流災害など、近年は全国的に土砂災害が頻発しており、ハード・ソフト一体となった対策が急務となっている。																																																																																		
事業効果把握の手法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標 名</th> <th colspan="2">土石流危険溪流に対する概成率(%)</th> <th colspan="2">低減指標の有無</th> </tr> <tr> <th>指 標 式</th> <th colspan="2">対策済み溪流数/土石流危険溪流数(%)</th> <th colspan="2">○ 有 ● 無</th> </tr> <tr> <th>指 標 の 種 類</th> <th>○ 成果指標</th> <th>● 業績指標</th> <th colspan="2">データ等の出典</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目 標 値 a</td> <td colspan="2">16.6 %</td> <td colspan="2">河川砂防課調べ</td> </tr> <tr> <td>実 績 値 b</td> <td colspan="2">16.5 %</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td colspan="2">99.4 %</td> <td>把握の時期</td> <td>28年 3月</td> </tr> </tbody> </table>					指 標 名	土石流危険溪流に対する概成率(%)		低減指標の有無		指 標 式	対策済み溪流数/土石流危険溪流数(%)		○ 有 ● 無		指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	データ等の出典		目 標 値 a	16.6 %		河川砂防課調べ		実 績 値 b	16.5 %				達成率 b/a	99.4 %		把握の時期	28年 3月																																																
指 標 名	土石流危険溪流に対する概成率(%)		低減指標の有無																																																																																
指 標 式	対策済み溪流数/土石流危険溪流数(%)		○ 有 ● 無																																																																																
指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	データ等の出典																																																																																
目 標 値 a	16.6 %		河川砂防課調べ																																																																																
実 績 値 b	16.5 %																																																																																		
達成率 b/a	99.4 %		把握の時期	28年 3月																																																																															

2. 所管課の1次評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土石流が発生した場合、人家のみならず、一般病院や国道・市道等が被災する可能性が高いため、事業の必要性は高い。 ○ 第2期ふるさと秋田元気創造プランの施策を直接的に推進する内容の事業である。 ○ 砂防法第5条により工事の施行は都道府県が行うものと位置付けられている。 	30点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 流域内は斜面勾配が急で、流域内において溪岸侵食が進んでおり、豪雨が発生した場合には土石流が発生する危険性が高いため、早急な整備が必要である。 	27点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設を整備することにより、土石流災害から人命や財産が守られ、下流域の安全性が短期間に確保される。 ○ 土石流危険渓流の整備率向上に直接寄与する事業であり、施策目標への貢献度は高い。 	10点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の費用便益比は 5.62 であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 1.56 億円 ・総便益の現在価値 8.78 億円 ○ 事業実施においては、残存型枠使用によるコスト削減等の検討を行う。 	15点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年の供養佛地区の災害を受け、地元住民の防災意識が高まり合意形成がなされることが期待される。 ○ 平成23年及び平成25年には、地元住民へ現場調査立会等を実施している。 	8点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	90点
	多くの項目において評価点が高く、住民の生命・財産だけでなく、災害時要配慮者利用施設及び重要公共施設を保全するため必要性が高い。	
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留	
	各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきだと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該地区は保全対象に人家20戸、病院、事務所・店舗、国道等を抱える土石流危険渓流である。当流域内では溪岸侵食が進行し、渓床には多くの不安定土砂が堆積しており、豪雨出水時には雨水とともに流出し、保全対象に甚大な被害をもたらす恐れが高い。そのため、砂防事業の必要性及び緊急性が高いほか、有効性、効率性も高いことから、1次評価における事業実施の総合評価は妥当と判断される。	

4. 財政課長意見

意見内容	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該地区は保全対象として一般病院1戸、人家20戸、国道・市道があるほか、上流部の荒廃状況を見ると、過去に土砂流出の痕跡があるなど、現在も不安定土砂が堆積していることから事業実施の必要性は認められる。砂防堰堤工において堰堤の設置数や残存型枠施工等の採用を検討するなどコスト縮減についても検討されている。	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に務める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 砂防事業

事業コード (H28-建-新-05)
箇所名 (横手市安田)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	災害発生時の影響 (被害想定)	人家戸数	20戸以上	10	10	人家20戸	
			5戸～19戸	7			
			1戸～4戸	3			
			0戸	0			
		公共・公益施設	以下に挙げる公共・公益施設がある 災害時要援護者関連施設 重要交通 (緊急輸送道路、避難路、鉄道等) 防災拠点 (警察、消防、役場等) ライフライン施設 (電力、ガス、水道等) 利用者多数 (学校、駅舎等)	10	10	一般病院 (要配慮者利用施設)、国道13号、市道	
		公共・公益施設がある なし	5 0				
		事業の必要性					
		県関与の必要性	法令等で県が実施する事業	5	5	砂防法第5条により、県が施行する工事	
			県が実施すべき広域的な事業	3			
			県が実施した方が望ましい事業	1			
		流域の整備状況					
		砂防設備の整備状況	未整備	5	5		
		低い (土砂整備率30%以下)	3				
		低い (土砂整備率30%超)	1				
	計			30	30		
緊急性	災害実績						
	過去の災害発生履歴	過去に災害の発生した記録がある	10	5	上流の荒廃状況により土砂流出の痕跡がある		
		過去に災害の発生した痕跡や情報がある	5				
		なし	0				
	災害発生の危険度						
	想定される流出土砂量	1000m3以上	7	7	計画流出土砂量1,070m3		
		1000m3未満	3				
	想定される流出流量	20m3以上	6	3	計画流出流量5.0m3		
		20m3未満	3				
	荒廃面積	流域面積の10%以上	6	6	荒廃率13.4%		
	流域面積の10%未満	3					
河床堆積、溪岸侵食状況	破砕帯、火山噴出物地帯、花崗岩地帯、第三紀層地帯	6	6	第三紀層			
	その他	3					
	計			35	27		
有効性	上位計画への貢献						
	ふるさと秋田元気創造プラン	プランに関連する事業である	5	5	「県土の保全と防災力強化」を推進する事業		
		プランとは別の個別計画に関連する事業である	3				
		プラン、個別計画に関連しない事業である	0				
	ソフト対策との関連性						
公表周知している情報の内容	土砂災害防止法に係る基礎調査	5	5	土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定 (ピッキ沢：H17.12.13)			
	土砂災害危険箇所マップ等	3					
	なし	0					
	計			10	10		
効率性	費用対効果						
	B/C	1.0以上	10	10	B/C 5.62		
		1.0未満	0				
	事業実施コストの縮減						
コスト縮減の具体的計画	あり	5	5	残存型枠施工等の採用を検討して縮減を図っている			
	なし	0					
	計			15	15		
熟度	事業着手の熟度						
	地元のニーズ	文書要望あり	5	5	横手市より要望あり		
		口頭要望あり	3				
		なし	0				
	関係自治体等との合意形成	合意形成が済んでいる	5	3	土砂災害危険箇所パトロールを市と合同で実施		
	合意形成がなされる見込みである	3					
	合意形成がなされていない	0					
	計			10	8		
合計				100	90		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		